

# SERI NEWS RELEASE

平成 24 年 6 月 25 日

一般財団法人静岡経済研究所  
理事長 鈴木一雄  
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13  
アゴラ静岡 5 階  
TEL054-250-8750  
FAX054-250-8770

## 平成 24 年下期 「静岡県内企業経営者の景気見通し」調査(B.S.I.)

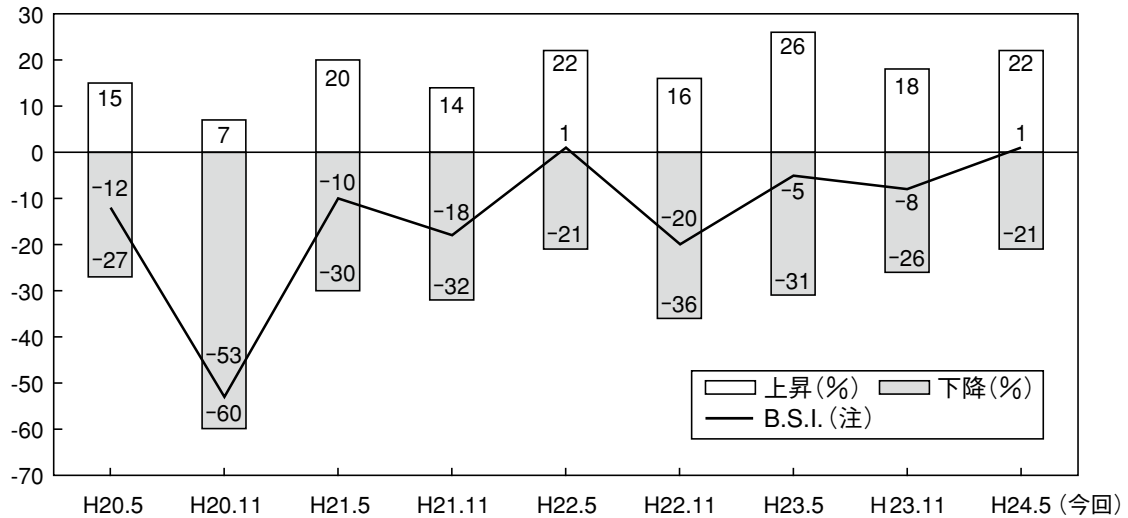
～B. S. I. は+1 と 2 年ぶりの上昇見通しも、勢い欠く～

- 平成 24 年 5 月実施の「静岡県内企業経営者の景気見通し」調査では、平成 24 年 7～12 月期の B. S. I. (業界景気見通し指数) は、景気底打ち期待から 2 年ぶりに上昇に転じ、+1 と前回 23 年 11 月調査(△8) から 9 ポイント改善した。
- 企業規模別では、大企業の B. S. I. は+2、中小企業は+1 と、いずれも上昇見通しとなった。また、業種別では、製造業は、前回調査の△10 から+5 と 15 ポイントの改善により上昇見通しとなったが、非製造業では、前回調査の△4 から△5 と下降見通しが続いている。全体として横ばい見通しが過半数を占め、景気浮揚に向けた力強さは感じられない。

担当：海野

# 景況感は2年ぶりにプラスに転じるも 先行き不透明感から足踏み状態が続く

図表1 半期先の業界景気見通し



(注) B.S.I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通し（上昇、横ばい、下降）を数字であらわしたものである。前期に比べて上昇とみるものをx、横ばいとみるものをy、下降とみるものをzとして、 $x+y+z=100$ とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$ と定義する。すなわち、全員が上昇とみればB.S.I.は+100となり、全員が下降とみるとB.S.I.は△100になる。言い換えれば、上昇と判断する人が多ければ多いほど+100に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど△100に近づく。上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I.は0となる。

## 調査の要領

- (1) 調査目的：この調査は、当研究所が昭和38年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的にしている。
- (2) 調査対象：静岡県内に本社をおく、資本金500万円以上の主要法人企業。
- (3) 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- (4) 調査内容：①平成24年上期（1～6月）に比べた平成24年下期（7～12月）、および平成24年下期に比べた平成25年上期の自社の業績見通し  
②平成24年上期に比べた平成24年下期の売上額、経常利益などの項目別見通し  
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- (5) 調査時点：平成24年5月
- (6) 回答状況：調査対象企業486社のうち、有効回答をよせられた企業は322社で、有効回答率は66.3%である。